

TARO TEAM ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2021 Round.3 SUPERBIKE RACE in SUGO



藤本電機工業



TARO SEKIGUCHI

SANMEI Team TARO PLUSONE

TARO SEKIGUCHI RACE REPORT #9

2021 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦 SUPERBIKE RACE in SUGO

宮城県・スポーツランド SUGO (1周=3.6211km)

クラス：JSB1000 マシン：BMW S1000RR タイヤ：BRIDGESTONE

2021年5月22日(土) 天候：雨のち濃霧 コース：ウエット

レース1 予選：9番手(タイム：1分39秒862) 決勝：中止

2021年5月23日(日) 天候：曇り時々雨 コース：ハードドライ

レース2 予選：9番手(タイム：1分40秒084) 決勝：7位

観客動員数：6,100人(2日間合計)

TARO



ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2021 Round.3 SUPERBIKE RACE in SUGO

TARO

TARO JSB1000 自己最高位を更新!

TARO SEKIGUCHI



全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦が宮城県・スポーツランドSUGOで開催された。前週に行われた事前テストでは、1分28秒前半で周回でき、いいアベレージを刻めていたが、テストの最後に転倒を喫してしまう。幸いケガはなかったが、マシンにダメージがあり、急きょ修復作業に追われることになってしまっていた。さらに、このタイミングでドイツのアルファレーシングから購入したエンジンが到着。当初は事前テスト前に届くはずだったが、ちょうどSUGOテストの転倒でエンジンもダメージを受けていたため、メインカーに搭載することにした。



迎えたレースウィーク初日は雨模様となったが、そこで2台を走らせてみたが、いきなり実戦に投入するのはリスクが

あるため、ウェットコンディションということもありTカーでセットを詰めていくことを選択した。しかし、金曜日は午後から霧が出てしまい2本目の走行はキャンセルとなってしまう。



土曜日も雨となるが公式予選が始まるころには雨も止み、路面は乾いていく状況だった。残り20分というところでスリックタイヤに変えることも考えたが、まだライン上も完全に乾いておらずリスクのある状態であり、レインタイヤのライフを見ておきたかったため、そのままレインタイヤで走り両レースとも9番手となる。

その後、またも霧が出て来てしまいレース1は中止となり、予選順位でハーフポイントが与えられることになっていた。



日曜日は天気も回復しドライコンディションでレースは行われた。スタートでやや順位を落とし11番手で1コーナーをクリア。その直後の3コーナーで転倒があり、いきなりセーフティカーが入ることになる。3周が終わったところでセーフティカーは退去し、リスタートが切られる。レース序盤

は7番手争いの集団の後方につけ、9周目に1台かわし10番手。レース中盤を過ぎるとペースの上がらない秋吉選手を16周目にかわして9番手、さらに21周目のシケイン進入で岩田選手をもかわし8番手に浮上。前を走る柳川選手に迫っていく。そして最終ラップには、前を走っていたライダーが転倒し一つポジションを上げ、最後のシケイン進入で柳川選手に勝負を仕掛けていく。ここで関口は、前に出るがクロスラインを取られてしまい7位でゴール。JSB1000クラスで自己最高位を更新したが、6位入賞が目の前だったこともあり悔しさも残るSUGOラウンドとなった。



■関口太郎コメント

「今回も三井電気工事様を始めスポンサーの皆さまのお蔭で、無事戦えることができました。また、マシンの修復にご協力くださったバーガンディさん、MDFさん、レンタルバイクを貸してくださったモトショップ功和さん、ありがとうございます。今回は、決勝で何とか尻尾を合わせられたかなというところでした。JSB1000クラス自己最高位の7位でしたが、6位入賞が手に届きそうだったので悔しい思いもあります。次戦は7月の鈴鹿になるので、それまでに新しく購入したエンジンを仕上げて上位を狙って行きますので、今後とも応援よろしくお願いします」

TARO



このリリースへのお問い合わせは、
下記メールアドレスまでお願いいたします。
E-mail : tarosekiguchi@gmail.com